

冷媒 R463A-J/R410A 対応

三菱電機ユニットクーラ [業務用]

形名

UCH-D4SNA
UCH-D5SNA
UCH-N4SNA
UCH-N5SNA

取扱説明書

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること.....	2
1. 使用上のお願い.....	6
2. 各部の名称.....	8
3. 使用方法.....	8
4. お手入れ.....	9
5. 定期点検のお願い.....	10
6. 保証とアフターサービス.....	11

- このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 「取扱説明書」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」をお渡しください。
- お客様ご自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

- ご不明な点や修理に関するご相談は、製品形名と封入冷媒をご確認のうえ、お買上げの販売店（工事店・サービス店）かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの



注意

取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



(一般禁止)



(接触禁止)



(水ぬれ禁止)



(ぬれ手禁止)



(一般指示)

- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項



警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない。

- ◆封入すると、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・火災・爆発の原因になります。
 - ◆法令違反の原因になります。
- 封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
- 指定冷媒以外を封入した場合の不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

以下の特殊な環境では使用しない。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ
 - ◆酸性やアルカリ性の溶液・オゾンによる殺菌・特殊なスプレーを頻繁に使うところ
- ◆性能低下・腐食により、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災の原因になります。



使用禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かない。

- ◆燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

腐食性雰囲気になるものを保存しない。また、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する腐敗物は放置しない。

- ◆ユニットが腐食し、冷媒漏れ・酸素欠乏・故障の原因になります。
- ◆酢漬など酸性の食品や塩分を含む食品は、密閉容器に入れてください。



禁止

改造はしない。

- ◆改造すると、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。



禁止

ユニットに可燃物を近づけない。

- ◆霜取ヒータなどに触れると、引火・火災の原因になります。



禁止

安全装置・保護装置の改造や設定変更をしない。

- ◆改造や設定変更または当社指定品以外のものを使用すると、破裂・発火・火災・爆発の原因になります。



変更禁止

ユニットの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけない。

- ◆工具などが落下すると、けがの原因になります。



禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹き付けない。

- ◆変形・引火・火災・爆発の原因になります。



禁止

揮発性、引火性のあるものを冷蔵庫内に入れない。

- ◆火災・爆発の原因になります。



禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れない。

- ◆冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷の原因になります。
- ◆保護具を身につけて作業してください。



接触禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れない。

- ◆素手で触れると、火傷・感電の原因になります。
- ◆保護具を身につけて作業してください。



接触禁止

電気部品に水をかけない。

- ◆水がかかった状態で使用すると、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしない。

- ◆感電・故障・発煙・発火・火災の原因になります。
- ◆ぬれた手を拭いてから、作業してください。



ぬれ手禁止

パネルの開閉やドレンパンの清掃など、高所では足を踏み外さないように作業する。

- ◆落下・転倒により、けがの原因になります。



指示を
実行

掃除・整備・点検をするときは、運転を停止して、主電源を切る。

- ◆運転中や主電源が入った状態で作業すると、けが・感電の原因になります。
- ◆回転機器により、けがの原因になります。



指示を
実行

薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛ける。

- ◆薬品がユニットにかかると、運転時にけがの原因になります。
- ◆薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電の原因になります。



指示を
実行

換気をする。

- ◆冷媒が漏れると、酸素欠乏の原因になります。
- ◆冷媒が火気に触れると、有毒ガス発生の原因になります。
- ◆燃焼器具を使用すると、不完全燃焼により、酸素欠乏・一酸化炭素中毒の原因になります。



換気
を
実行

アルコールで消毒した場合、換気をして周囲に充満するアルコールガスを取り除く。

- ◆ガスを取り除かずに電源を入れると、引火・爆発の原因になります。
(本製品は防爆仕様ではありません)



指示を
実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切る。

- ◆異常のまま運転を続けると、感電・故障・火災の原因になります。
- ◆お買上げの販売店・お客様相談窓口ご連絡してください。



指示を
実行

長時間使用しないときは、主電源を切る。

- ◆ドレンホースヒータは常時通電のため、感電・火災の原因になります。



指示を
実行

端子箱・制御箱のカバーまたはパネルを取り付ける。

- ◆ほこり・水が入ると、感電・発煙・発火・火災の原因になります。



指示を
実行

据付台が傷んでいないか定期的に点検する。

- ◆ユニットの落下によるけがの原因になります。



指示を
実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼する。

- ◆充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発の原因になります。



指示を
実行

⚠ 注意

空気の吹出口・吸込口に指や棒などを入れない。

- ◆ ファンに当たり、けがの原因になります。



禁止

パネルやガードを外したまま運転しない。

- ◆ 回転機器に触れると、巻込まれてけがの原因になります。
- ◆ 高温部に触れると、火傷の原因になります。
- ◆ 高電圧部に触れると、感電の原因になります。



使用禁止

動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。

- ◆ 保存品が品質低下する原因になります。



使用禁止

ユニットの下に食品を置かない。

- ◆ ほこり・異物の落下により品質低下する原因になります。



禁止

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かない。

- ◆ 悪影響の原因になります。



禁止

ユニットに触れるときは保護具を身に付ける。

- ◆ 霜取ヒータなどに触れると、火傷・けがの原因になります。



指示を
実行

部品端面・ファン・熱交換器のフィン表面に触れるときは保護具を身に付ける。

- ◆ けが・感電・故障の原因になります。



指示を
実行

作業する場合は保護具を身に付ける。

- ◆ けがの原因になります。



指示を
実行

薬品消毒する場合、ユニットを停止する。

- ◆ ユニット運転により飛散した薬品を浴びると、けがの原因になります。



指示を
実行

薬品消毒後は、換気をして4～5時間送風運転する。

- ◆ ユニットに付着した薬品が飛散し、薬品を浴びると、けがの原因になります。



換気を
実行

ユニット内の冷媒は、処理業者に依頼して回収・廃棄する。

- ◆ 大気に放出すると、環境破壊の原因になります。



指示を
実行

販売店または専門業者が定期的に点検する。

- ◆ ユニットの内部に、ごみ・ほこりがたまると、水漏れにより家財がぬれる原因になります。
- ◆ においが発生する原因になります。



指示を
実行

移設・修理をするときに

⚠ 警告

改造はしない。

- ◆ 改造すると、冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災の原因になります。
- ◆ ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼してください。



禁止

分解・修理をした場合、部品を元どおり取り付ける。

- ◆ 不備があると、けが・感電・故障・火災の原因になります。



指示を
実行

注意

点検・修理時は、配管支持部材・断熱材を確認し劣化したものは補修、交換する。

◆ 冷媒漏れ・水漏れの原因になります。



指示を
実行

1. 使用上のお願い

- ◆ 冷媒 R463A-J、R410A 使用機器としての注意点・留意点は、接続するコンデンシングユニットの据付工事説明書を参照ください。

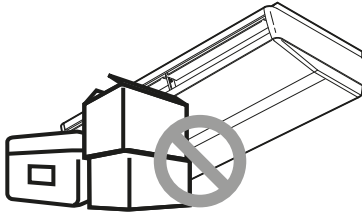
危険物および化学薬品は貯蔵しないでください。

- ◆ 引火の危険がありますので、下記は貯蔵しない（近づけない）こと。
 - ・ エーテル・ベンジンなど揮発性
 - ・ 引火性の薬品・爆発のおそれがある物
 - ・ ラッカーペイントなどの強燃性スプレー
- ◆ 高精度な温度管理が要求される化学薬品等は貯蔵しないこと。



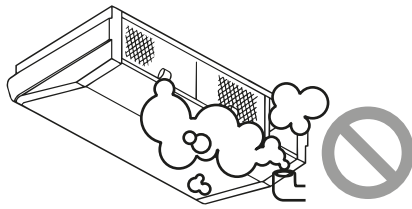
空気の循環をよくしてください。

- ◆ ユニットクーラの吸込口や吹出口の前に商品を置かないこと。



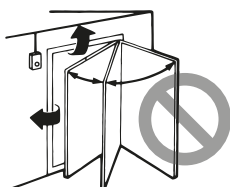
加湿器を吸込口の近くに置かないでください。

- ◆ 加湿器を設置する場合、加湿器の蒸気が直接ユニットクーラに吸込まれないようにすること。
- ◆ 湿度は 90%RH 以下で使用すること。
- ◆ 加湿器を使用する場合、霜取りの間隔を見直すこと。
- ◆ 蒸気を直接吸込んだり、湿度が高い条件で使用したりすると送風機故障のおそれあり。
- ◆ 霜付きが早くなるおそれあり。
- ◆ 多量に霜がついた条件で霜取りを実施すると露とびの原因となるおそれあり。



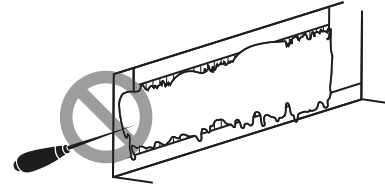
冷蔵庫の扉は、開けたままにしないでください。

- ◆ ユニットクーラへの着霜が増え、残霜・不冷になるおそれあり。



アイスピックなど、鋭利なもので無理に霜を取らないでください。

- ◆ 配管などを傷つけ、ガス漏れのおそれあり。



使用温度・湿度範囲を守ってください。

- ◆ 範囲外で使用すると故障のおそれあり。

< 使用温度 >

UCH 形

(オフサイクル霜取) … + 3℃ ~ + 22℃

< 使用湿度 >

90%以下

電源配線には専用回路を使用してください。

- ◆ 電源容量不足のおそれあり。

冷媒変更時は、霜取設定の見直しをしてください。

封入冷媒を変更する際は、コンデンシングユニットの据付工事説明書に従って冷媒を回収し、混在しないようにしてください。

冷媒を変更する際は、据付工事説明書に従って膨張弁の調整をしてください。

据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。

- ◆ 工具が適切でない場合、機器損傷のおそれあり。

血液・ワクチン・医薬品など厳重な温度管理を必要とする用途に使用される場合、販売店にお問合せください。

- ◆ 適切に使用しない場合、品質低下のおそれあり。

高級商品の冷蔵用途などに使用する場合、警報装置を設置してください。

- ◆ 貯蔵品損傷のおそれあり。
- ◆ ユニットには保護装置が作動して運転が停止したときに信号を出力する端子の設置あり。
- ◆ 未然に防止できるように、警報装置の接続を販売店に依頼すること。

冷氣吹出口の近くに液体を置かないでください。

- ◆ 冷えすぎて凍るおそれあり。
- ◆ 品質低下のおそれあり。

食品保管用途に使用する場合、食品の安全・衛生を確保する手段を講じてください。

- ◆ 使用方法・霜取周期などの設定に不備があった場合、食品の安全・衛生上支障が生じるおそれあり。

吹出口・吸込口を塞がないでください。

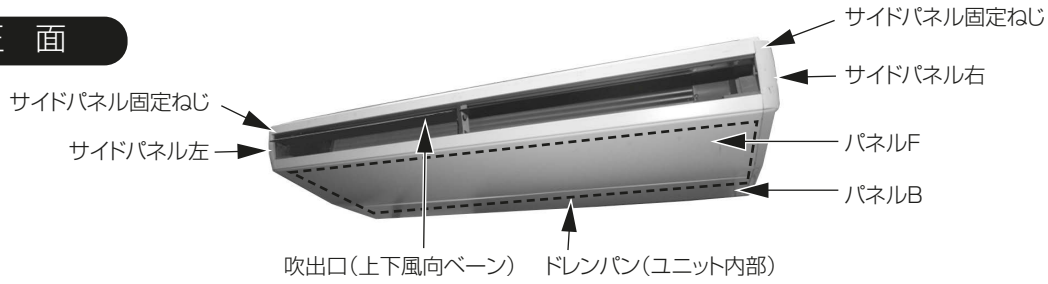
- ◆ 風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれあり。

カチオン電着塗装仕様といえども腐食や発錆に対して万全ではありません。

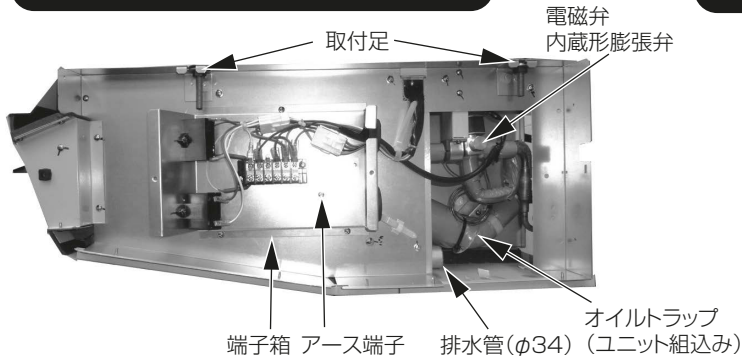
- ◆ ユニットクーラを設置する場所や設置後のメンテナンスに留意すること。

2. 各部の名称

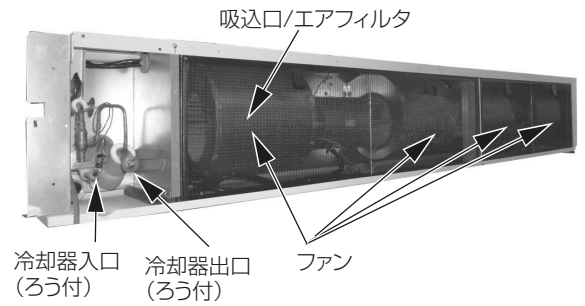
正面



右側面(サイドパネル右 取外し後)



背面



3. 使用方法

- ユニットの使用方法は、販売店・工事店さま用の「据付工事説明書」をご覧ください。

4. お手入れ

- ◆安全のため、お手入れの前に必ず電源スイッチを切ってください。
- ◆端子箱やファンモータには、絶対に水をかけないでください。故障（とくに漏電）の原因になります。
- ◆シンナー・ベンジン・ミガキ粉などは、製品を傷めますので使わないでください。

キャビネットの清掃

- ◆通常の場合
乾いた柔らかい布でから拭きしてください。
- ◆汚れがひどい場合
中性洗剤をとかしたぬるま湯か水を柔らかい布にふくませて拭き、その後ぬれた布で洗剤が残らないようによく拭きとってください。



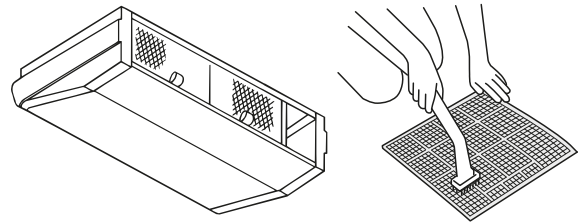
冷却器の清掃

手順

- 1)フィンで手を切らないように手袋をする。
- 2)フィンを傷めないように目にそってハケ・ブラシなどで清掃する。

フィルターの清掃

- 1)取外したフィルタのほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いをし、日陰でよく乾かす。
- 2)硬いブラシやタワシでこすらない。変形することがあります。
- 3)汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯ですすぐ。
- 4)直射日光や火にあてて乾かさない。
- 5)熱い湯（約 50℃以上）で洗わない。変形することがあります。



5. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全・衛生上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検のご依頼・ご相談は、別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご連絡ください。

6. 保証とアフターサービス

[1] 無償保証期間および範囲

据付けた当日を含め 1 年間が無償保証期間です。対象は、故障した当該部品または弊社が交換を認めた部品とします。ただし、下記使用法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

[2] 保証できない範囲

(1) 機種選定、冷凍装置設計に不具合がある場合

据付工事説明書およびコンデンシングユニットやクールマルチの設計・工事・サービスマニュアルに記載している事項および注意事項を遵守せずに工事を行ったり、冷却負荷に対して明らかに過大過少の能力を持つユニットクーラを選定し、故障に至ったと弊社が判断する場合。

(例：冷却器膨張弁の選定ミス・取付ミス・電磁弁〈液〉なき場合、ユニットに指定外の冷媒を封入した場合、充てん冷媒の種類が表示なき場合など)

(2) 弊社の製品仕様を据付けに当たって改造した場合、または弊社製品付属の保護機器を使用せずに事故となった場合。

(3) 据付工事説明書に指定した蒸発温度、凝縮温度、使用外気温度の範囲を守らなかったことによる事故の場合、規定の電圧以外の条件による事故の場合。

(4) 運転、調整、保守が不備なことによる事故

- a) 据付場所による事故（腐食性雰囲気、化学薬品などの特殊環境条件）
- b) 調整ミスによる事故（膨張弁のスーパーヒート、吸入圧力調整弁の設定値、圧力開閉器の低圧設定）
- c) ショートサイクル運転による事故（運転一停止おのおの 5 分以下をショートサイクルと称す）
- d) メンテナンス不備（油交換なき場合、ガス漏れを気づかなかった場合）
- e) 修理作業ミス（部品違い、欠品、技術不良、製品仕様と著しく相違する場合）
- f) 冷媒過充てん、冷媒不足に起因する事故（始動不良、電動機冷却不良）
- g) アイススタックによる事故
- h) ガス漏れ等により空気、水分を吸込んだと判断される場合。

(5) 天災、火災による事故

(6) 据付工事に不具合がある場合

- a) 据付工事中取扱不良のため損傷、破損した場合
- b) 弊社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合
- c) 振動が大きく、もしくは運転音が大きいのを承知で運転した場合
- d) 軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で起こした事故の場合

(7) 自動車、鉄道、車両、船舶などに搭載した場合

(8) その他、ユニット据付け、運転、調整、保安上常識になっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は一切保証できません。また、ユニット事故に起因した冷却物、営業補償などの 2 次補償は原則としていたしませんので、損害保険に加入されることをお勧めします。

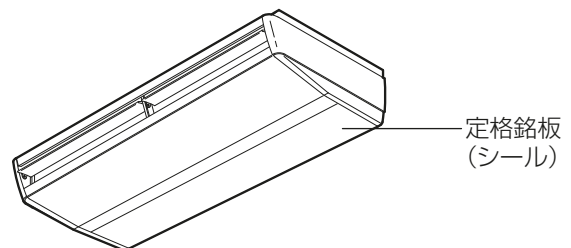
(9) この製品は国内用ですので、日本国外では使用できません。アフターサービスもできません。

万一異常がありましたら、ただちに運転を中止し運転スイッチを切り、お買い求めの販売店または最寄りのサービス窓口・当社営業所へご連絡ください。

[3] 下記をお調べください

ご連絡の場合は、故障内容とともに「定格銘板（シール）」に示している下記をハッキリお示しください。

- ◆ ユニットクーラ形名（例：UCH-D4SNA）
- ◆ 製造番号



警報装置の設置について

冷凍装置には、多種の安全・保護装置が取付けられています。
警報システムが不十分であれば、万一、漏電ブレーカや保護回路が作動した場合、冷凍機の運転が長時間停止し、貯蔵品の損傷につながります。
すみやかに適切な処置ができるよう、据付時には警報装置の設置や温度管理システムの確立も、ご計画くださるようお願いいたします。

愛情点検

●長年ご使用のユニットクーラの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点や修理に関するご相談は、製品形名と封入冷媒をご確認のうえ、お買上げの販売店（工事店・サービス店）かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（別紙）にご相談ください。

三菱電機株式会社

冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2023年3月作成

WT06208X05